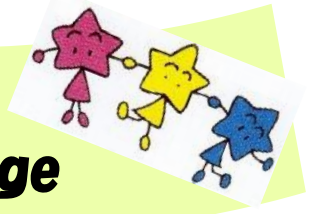


あのね、保育の根 NO.13

～えんちょうのおたより～ Last Page



少しづつ寒さが和らぎ、春の訪れを感じられるようになりました。しかし、それと同時に必ずやってくる花粉の猛威。あー、花粉に反応しない身体になりたい…。

さて、私事で大変恐縮ではありますが、4月から自分の母校の大学に専任講師として採用されることになりましたので、「退職者のお知らせ」でもお伝えした通り、今年度をもって印西ひかりこども園を退職することにいたしました。

この園を離れる決断は、私にとって簡単な選択ではありませんでした。妻にも色々心配されましたが、一度きりの人生に悔いは残したくないので、飛び込んでみることにしました。

そして3年前にスタートしたこの園長のおたよりも、あっという間に私の執筆は最後となりました。当初の予定では、もっといっぱい書けるはずだった…。まあでも、最後まで書き続けることが出来たので、私なりに頑張ったと思うことにします。

…最後まで自分に甘い私でした。(笑)

* 新たな挑戦へ!

これまでも短大や専門学校で非常勤講師をしていたので、全く新しい環境でもないですが、これからはより研究者としての実績が求められる立場になります。

まだまだ理想像でしかありませんが、長く保育現場にいたからこそわかる保護者の方々や保育者の悩み・困り感に焦点を当てる研究者でありたい。また、その積み重ねの先に少しでも制度や現状を変える一助となれるような研究をしたいと思っております。

そして、次世代の保育を担うであろう学生の方々に、教科書には載っていない現場での体験談もたくさん伝えたいなあと思っております。

そんな野望を胸に、大学界でも爪痕を残せるように精進していこうと思います。もし何か子育て分野で研究してほしい疑問があればぜひご相談ください!(笑)

* 私からのお願いとお詫び…

私からの最後のお願いとなりますが…、お別れのお品物等は、一切!絶対に!!受け取らないと決めておりますので、丁重にお断りいたします。

その分ご家族でおいしい食べ物を食べて、子ども達に還元してあげてくださいね。私は会話のネタにさせていただきだけで十分に幸せです。

そして可能であれば…、いつか世に出ずであろう私の本(拙著)を手にとっていただき、その購入費用に回していただければ、私は夢の印税生活が始まりますので、ぜひ前向きにご検討ください!(笑)

あらたまった丁寧なご挨拶も、できればご遠慮いただければ幸いです。正直に言うとそのような場面がとても苦手なので…、通りすがりにお声掛けいただく程度でお願いいたします。

* 結びのご挨拶

開園から今日までの9年間を振り返ってみると、本当にあっという間に時が流れていったような気がしています。…苦労だけを切り取るととても長かったです。(笑)

『子どもとかかわる仕事がしたい』、『大学の教授になるとお金がたくさんもらえるらしい』そんな漠然とした考えと不純な動機をもって過ごしていた学生時代。あれから約20年…。

保育の仕事がこんなにも大変だとは思わなかった…。大学の先生になることがこんなにも険しい道のりだとは思わなかった…。そして、不真面目で多動な私がこんなにも保育や子ども達に魅了され、情熱を注ぐとは思わなかった…。とても充実した保育現場生活でした。それもすべて子ども達や保護者の皆様、そして職員の方のおかげです!

じっとしてられない園長で、至らないこともご迷惑をおかけしたこともたくさんあったと思います。自分でももっとやれることがあったなあ…、力不足だったなあ…と思いますが、この続きは内田先生やみほ先生、そして職員の方々に託すことにします。

保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。引き続き、来年度以降も変わらぬご支援をいただければ幸いです。お世話になりました!